

校長あいさつ

校長 比嘉 良一

この度、読谷高等学校第29代校長を拝命致しました。比嘉良一と申します。本校34期生として卒業し39年、幸運にも教諭として、また教頭として母校勤務の機会を与えられ、読高勤務合計12年目に突入をいたしました。高校3年間を加えますと15年間も本校で過ごすこととなります。私ごときが、先達が築き上げてこられた伝統の重責に堪えうるのか定かではございませんが、我が母校に集う生徒一人ひとりの夢実現の一助となれるよう精一杯務めて参ります。

さて、今年、創立73年目を迎える本校は、読谷村、嘉手納町、北谷町、恩納村等の地域に支えられ、地域に根ざした中部の伝統校として歩を進めております。校訓である「誠実勤勉・融和協力・進取剛健」の下、これまでに約2万2千人を超える生徒が巣立ち、県内外、各分野において活躍をしております。

花と緑溢れる恵まれた教育環境の下、生徒は生き生きと高校生活を楽しみながら自己の目標に向かって、一生懸命に努力をし、令和4年度の進路実績においては、進路決定率90.9%、県内外国公立大学は47名、県内外私立大学・短大106名、専門学校等125名、就職が6名とそれぞれの希望進路に羽ばたいております。

また、本校には体育系、文化系部の部活・同好会が34種活動しており、生徒の多様な要望に応えるべく、学校・保護者の皆さまと共に部活・同好会活動の支援体制を充実させております。更に今年度は、姉妹校締結から3年間実施することができなかった米ボーイズマン高校との姉妹校交流を実現させるべく、その第一陣の生徒達を送り込むために計画を進めているところであります。

今年、「読高生はダイヤモンドの原石である」のキャッチフレーズ提唱から21年目となります。ここから新たな読高のダイヤモンド伝説を築くべく、学びを止めず、体験と感動いっぱいの読谷高校となるよう生徒・職員一丸となって取り組んで参りますので、今後とも本校の教育実践へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

令和5年4月吉日

